



# 管路構造計算システム

「土地改良設計基準パイプライン」・「日本下水道協会」・「日本上水道協会」に準拠

価格 ¥220,500-(税+HASP 込)

本商品を別保有 HASP に追加登録する場合、価格は¥210,000-(税込) となります。

## 適用基準

- 農林水産省農村振興局
  - ・「パイプライン」(H21/3)
- 日本下水道協会
  - ・下水道施設計画設計指針 (H13/5)
  - ・下水道施設の耐震対策指針 (H18/8)
- 日本水道協会
  - ・水道施設設計指針 (H12/3)
  - ・水道施設耐震工法指針 (H21/7)

## 計算範囲

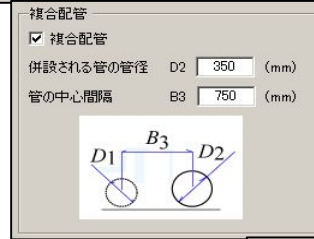
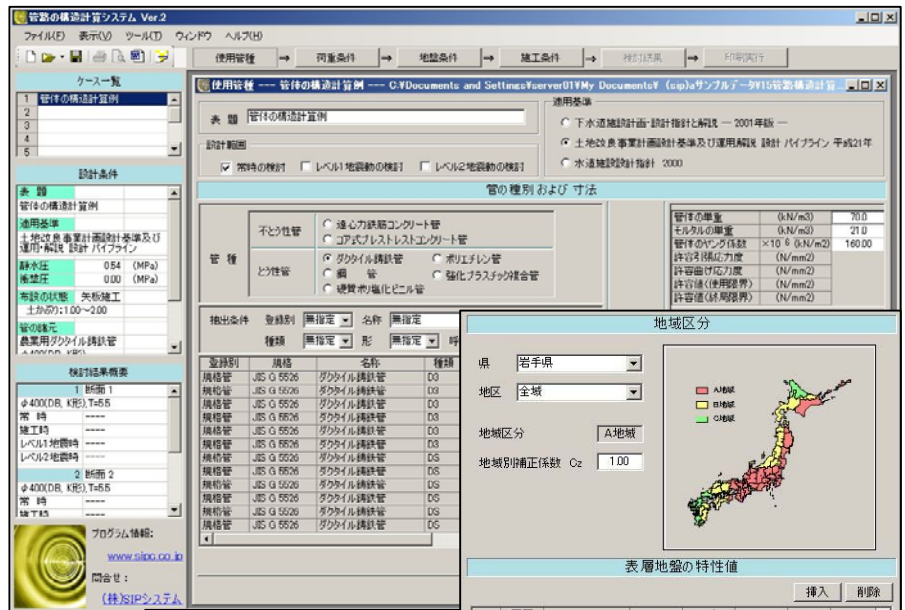
- 管体の常時・地震時の断面照査
- 埋設深(凍結深・浮上り)の検討
- 内圧から求めた管厚の判定
- 管体のたわみ率の算出と判定
- 管体の許容水圧の算出と判定

## 適用管種

- 不とう性管
  - ・遠心鉄筋コンクリート管・コア式<sup>®</sup>レストレスコンクリート管
- とう性管
  - ・ダクトイル鑄鉄管・鋼管・ポリエチレン管
  - ・硬質ポリ塩化ビニル管・強化プラスチック複合管

## 主な機能

1. 管断面の**常時・地震時(レベル1、レベル2)**の構造計算が可能。
2. 埋設深の検討として「**凍結深**」および「**浮上りに対する検討**」が可能。
3. 管種(とう性管・不とう性管)の特性値は、データベースより引用が可能。また、「登録管」として管種のユーザ登録も可能。
4. 「自動車荷重」では、**プーシネスク式**(上下水道基準)の計算も可能。
5. 「施工方法」は、**溝形、突出形、逆突出形、矢板施工、簡易土留工法**より選択が可能。また、下水道基準で不とう性管の場合、**矢板施工(含む土留工)**を指定した場合は、「**矢板の撤去**」の考慮も可能。
6. 検討管路断面の登録は、埋設深さの変化を「**ピッチ入力**」で行えば、一括で断面登録が可能。また、断面一覧表にてデータ編集も可能。
7. 計算書は、目次の自動生成やプレビュー画面表示後、印刷出力、Word 出力変換が可能。



表層地盤の特性値

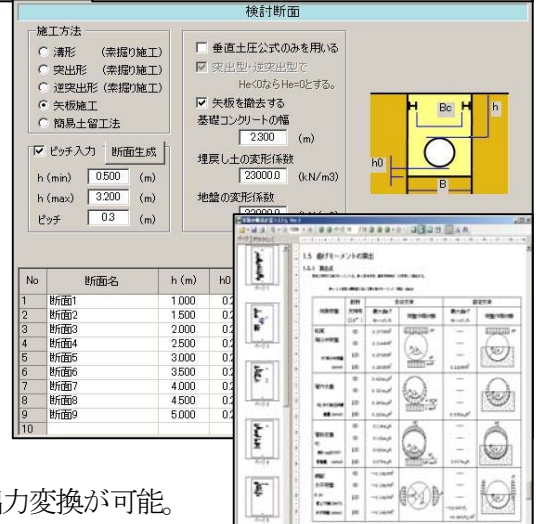
No	層厚 (m)	土質	$\gamma$ (kN/m <sup>3</sup> )	$\gamma'$ (kN/m <sup>3</sup> )	$\gamma_{sat}$ (kN/m <sup>3</sup> )	$\phi$ (度)	N値
1	3.300	洪積層 砂質土	19.00	10.00	19.00	24.0	5
2	5.200	洪積層 粘性土	16.00	7.00	16.80	20.0	2
3							
4							
5							
6							
7							

$\gamma, \gamma', \gamma_{sat}$ : 土の単位体積重量、水中単位体積重量および飽和単位体積重量

地下水位 G.L. = 2000 (m) TG = 0.23 (m/s)

地盤種別 II 種

基底地震動の速度応答スペクトル Sv (0.172~0.236) Ⅱ種 (m/s)



## システム環境

- 基本 OS : Windows XP/2000/Vista/Windows7 (32bit&64bit)
- ハード環境 : Pentium II 233MHz 以上/画面解像度 1024×768 を推奨/HD 容量 200MB 以上
- ドライブ環境 : CD-ROM ドライブ必須/USB ポート必須 (プロテクト HASP 用)

## お問合せ

CONTACT (TEL) : 06-6125-2232 (FAX) : 06-6125-2233

ACCESS (URL) : http://www.sipc.co.jp (Mail) : mail@sipc.co.jp

株式会社SIPシステム

【大阪事務所】〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場 1-18-24-501  
 (お問合せ先) TEL : 06-6125-2232 FAX : 06-6125-2233  
 【本店】〒599-8128 大阪府堺市東区中茶屋 77-1-401  
 TEL : 072-237-1474 FAX : 072-237-1041

## ご案内

- ・本商品に関するご質問、資料請求、見積依頼等ございましたら、お電話、メール等にて弊社「大阪事務所」までお問合せ下さい。商品の操作概要等をご確認頂ける「体験版 CD-ROM」を用意しております。
- ・弊社ホームページよりも商品概要、リーフレット、出力例、体験版プログラムなどのダウンロードを可能としておりますのでご利用下さい。